

## KAB ブックマーケット 2024 | すみだ向島 EXPO2024 参加プログラム

主催：KAB Library and Residency

『KAB ブックマーケット』は、関東周辺の小型書店が KAB 内で期間限定の店開きをするプロジェクト。個性的なアイテムを扱うユニークな書店 5 軒が、週代わり/日代わりで開店します。

さらに海外アーティスト 2 名が、別期間に KAB に滞在しながらスタジオ・オープンします。

期間：10月4日（金）～11月3日（日）火曜・水曜・木曜休み 10:00-18:00

入場無料（すみだ向島 EXPO をご覧になる場合はチケット購入が必要です）

会場：KAB Library and Residency 東京都墨田京島 2-24-1

### ■シャーロット・マクゴワン=グリフィンのスタジオ・オープン

シャーロット・マクゴワン=グリフィンは、土地の物語や日本の伝統文化に着目する映像作品を発表。作家が長く関わりを持つ徳島の阿波人形浄瑠璃や襷絵、藍染めに視点を置く。KAB に滞在しながら独自の視点で調査を続ける。

◎9月22日～10月10日 KAB アーティスト・イン・レジデンス

◎スタジオ公開：10月5日、6日、7日 10:00-18:00 ヴィデオ作品『Conducting Threads』  
(20分)

○10月6日（日）19:00-22:00 『ヨーロッパの夕べ』 Vittoria Assembri（伊）＋  
Charlotte McGowan-Griffin（英）によるパフォーマンスとプレゼンテーション

入場料：500円（EXPO チケット持参無料）＋フード&ドリンク実費

会場：うちの居間「分館」

<https://www.mcgowan-griffin.net/>



### ■KAB ブックマーケット

★ 1 neko(いちねこ)：ひと箱のサイズが、ねこが鎮座するくらいという意味で屋号「いち

ねこ」で本棚主をしている。没後 100 年にあたるフランツ・カフカの「変身」のみを出品。「変身」からモノゴトの多様性、持続可能性等を読み解く。



◎10月11日(金)12日(土)、13日(日)、14日(月・祝)10:00-18:00 ミニ読書会  
「カフカの短編を読み解く」出店全日13:00-14:00 無料

◎10月19日(土)19:00-21:00 読書会『カフカの“変身”を読み解く』

会場：うちの居間 分館

入場料：500円(EXPO チケット持参無料) + フード実費

会場：うちの居間「分館」

★からこそBOX(瀧脇信、小林遼、林北斗、松本祥孝)：からこそBOXの『からこそ屋台café』は、横浜を拠点に実施する社会貢献型プロジェクト。移動式屋台スタイルで、新しい生活様式に即したまちの交流拠点をつくり、地域共生社会の実現していく。出張先でコーヒーを提供することで、気軽に対話のできる場づくりを行っている。

「からこそ屋台café」一般社団法人からこそBOX(瀧脇信、小林遼、林北斗、松本祥孝)

◎10月18日(金)、19日(土)、21日(月)10:00-18:00 会場：KAB Library and Residency

◎10月18日(金)10:00-18:00 会場：京島劇場前 屋台café(墨田区京島3丁目23-11)

ハンドドリップコーヒー：1杯500円



★ (TT) press from platform3

2024年8月に開店した本屋 Platform3 にある書籍や Zine の数十点を持参する。東アジアの書店ネットワークを活かした韓国、中国、台湾、タイなどの書籍や翻訳本がたくさんある。

**(TT)press**



10月20日（日）1日限定 10:00—18:00

★ストアフロント：

店主・柳正彦が、長年にわたり関わってきたニューヨークのアーティスト:クリストとジャンヌ＝クロードに関する書籍、資料を展示・販売。二人は布を使って世界各地の景観を変貌させてきた環境芸術家で、その作品は、どれも2週間程度の「展示」の後に完全に撤去されたが、多くは「本」の中に記録されている。

◎10月25日、26日、27日、28日 10:00-18:00

◎KAB勉強会「クリストとジャンヌ＝クロードの作品と人物を知る」10月27日 15:00-16:00

入場：チケット持参無料、一般 500 円

○10月26日（土）特別上映会+柳正彦による解説付き『クリスト ウォーキング・オン・ウォーター』2018（1時間44分）

入場料：¥1500（EXPO チケット持参）、¥2000（一般）ワンオーダー制

会場：うちの居間「分館」



■Mark Robinson のスタジオ・オープン「東京デルタブルーKAB」

マーク・ロビンソンは、浅草在住の作家、写真家、絵本作家として活動。“東京デルタ”（隅田川、荒川周辺）のコミュニティに住む人々の多様な姿やめげないひたむきな生活ぶりを捉えている KAB 滞在の体験を通して製作した写真プリントと絵本を展示販売する。

11月1日、2日、3日 10:00-18:00





KAB Library and Residency ディレクター嘉藤笑子

すみだ向島 EXPO2024 チケット料金：一般 3500 円、墨田区民 2500 円、高校生・大学生  
2000 円、中学生以下無料

◎週末の多言語ガイドツアー（英語・中国）4,500 円(クーポン割の場合。EXPO チケット  
付き)

※本チケットは分館イベント入場無料になります。

### KAB Library and Residency

アクセス | 京成曳舟駅から徒歩 8 分、東武鉄  
分、押上スカイツリー駅徒歩 12 分

押上駅「すみだ巡回バス北東部ルート：下町  
店街入口」下車徒歩 1 分

〒131-0046 東京都墨田区京島 2-24-1



KAB Library and Residency は、2020 年 1 月に開設された「泊まれる図書館」。年会費によるメンバー制によってオンライン読書会や随時イベントを開催中。アーティスト・イン・レジデンスとして国内外のアーティストのリサーチおよび制作計画室として運営している。